

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	デビュープランニング 1	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース プレイヤーコース	開設期	通年
対象年次	1 年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1 単位	授業形態	実習		
教科書/教材	適宜レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	川村ケン		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
既に音楽業界で仕事をしているミュージシャン、クリエイター、バンドマンや、音楽事務所、制作会社、レコード会社等に所属する音楽業界人に信頼を得られる職業音楽家としての振る舞い、知識を身に付ける事。プロのミュージシャンが持っている技能「ライブの集客を増やす」「良い楽曲を制作できる」を確認しながらオリジナルな音楽を作る意味と必要性、さらには楽曲が販売されることでミュージシャンに支払われる印税のしくみについて基礎的な要素を理解することを目的とする。					
到達目標					
「ライブ」「楽曲制作・販売」がショービジネスであることを理解し、収益を上げるためには音楽ジャンルの歴史的考察をふまえてポピュラー音楽全体の歴史を知ることが最初の目標とする。次に、歴史を踏まえた上での自分自身の作品を作る意味について考察する。作品が出来たらそれを社会にアウトプットし「人の心を打つ＝愛される意味」について考えていく。アーティストのビジネスについての全体像を理解し自らの活動につなげていくことを到達目標とする。					
教育方法等					
授業概要	各回単位で音楽業界で仕事をしていく為に必要な項目を解説をする。実技が伴う場合もある。この授業では、随時パネルディスカッションを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業中での行動を通じて、学生の職業観を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自身のミュージシャンとしてのキャリア像を自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。普段から、音楽を流し聴きにとどめず、仕事の結果としての作品として鑑賞、分析、研究する習慣をつけておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	0%			
	小テスト	30%	授業内で、適宜出題される。		
	提出物	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業内で適宜出題される問い掛けに対しての発表方法、内容について評価する。		
	平常点	40%	出席、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	職業音楽家としての目標の確認		各人の音楽業界での職種、また、到達目標を確認する。1 0 年後の自分の理想像を明文化出来る。		
2 回	基礎知識の修得（1）		音楽で生活を成り立たせる＝お金を稼ぐ、であることを確認、その方法を具体的に考察出来る。		
3 回	基礎知識の修得（2）		音楽家を職業とする為に、必要な基礎知識の確認と修得。「楽器」の種類を理解する。		
4 回	基礎知識の修得（3）		必要な基礎知識の確認と修得。「音楽ジャンル」の種類を理解する。		
5 回	基礎知識の修得（4）		必要な基礎知識の確認と修得。「ポピュラー音楽の歴史」を考察して理解する。		
6 回	基礎知識の修得（5）		必要な基礎知識の確認と修得。「売れるアーティスト、売れないアーティスト」の違いを理解する。		
7 回	パネルディスカッション（1）		好きなアーティストの楽曲を挙げ、それがなぜ心を打つのか、音楽的に考察・研究することが出来る。		
8 回	基礎知識の修得（6）		必要な基礎知識の確認と修得「音楽家に音楽理論は必要か」を理解する。		
9 回	基礎知識の修得（7）		必要な基礎知識の確認と修得「歌のある音楽、歌のない音楽」歌詞の意味と必要性を理解する。		
1 0 回	基礎知識の修得（8）		必要な基礎知識の確認と修得「オリジナルな音楽を作る意味と必要性。印税のしくみ」を理解する。		
1 1 回	基礎知識の修得（9）		必要な基礎知識の確認と修得「スタジオミュージシャン、ツアーミュージシャンとは」を理解する。		
1 2 回	基礎知識の修得（1 0）		必要な基礎知識の確認と修得「良い楽曲とは何か」を理解する。		
1 3 回	基礎知識の修得（1 1）		必要な基礎知識の確認と修得「ライブの集客を増やすということ」を理解する。		
1 4 回	パネルディスカッション（2）		好きなアーティストの楽曲を挙げ、それがなぜ心を打つのか、音楽的に考察・研究することが出来る。		
1 5 回	まとめ		半期のまとめとして、音楽、および、音楽業界のしくみについての質問を受け付け、解説を理解する。		

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	デビュープランニング 1	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	通年
対象年次	1 年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1 単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	月野 そら		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
音楽業界で長きにわたり活躍するには、音楽の制作や演奏以外にも広範な分野への正しい知識をもつことが不可欠である。この授業では、音楽業界の実際の現場の仕事の実例を元に、具体的な仕事内容についてや問題が起きた場合の解決策についてを学ぶ。音楽家としての意識と行動について、音楽作品制作の段取り、取引先とのやり取り、作品のリリースについて、アーティストマネジメントについて、著作権の管理について、コンサート運営について、プロモーションについてなど、実際の現場目線での仕事内容を学習すると共に、テレビ番組等の映像作品で使用されている劇伴音楽の細部についての制作方法や、アレンジ、使用機材など、商用作品制作について細部を知ること、専門的な音楽制作スキルの習得を目的とする。					
到達目標					
音楽業界の中に存在する幅広い仕事内容を知ること、自分の適性や興味・関心を結びつけて理解すること、社会に出て活躍するために必要な能力をより具体的にイメージをすること、授業内で得た知識やスキルを日々の活動に反映させ取り組んでいくことを目標とする。また同時に、商用作品制作における実際の制作方法、アレンジ、使用機材などの細部を知ること、音楽制作におけ多方面の知識を養い、音楽業界で仕事をする上で偏りなく総合的な能力を身につけることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	実践的な仕事内容の中で自らならどのように行動するのかを意識しながら授業を進めると共に、段階を経て個人ワークやグループワークを採り入れる。個人ワークでは、各テーマごとにレポートを作成し提出する。グループワークでは、基本的なコミュニケーションから始まり、他者と協力することでよりよい作品作りを行うにはどのようにすればよいか考え行動する必要がある。音楽業界で活躍するのに相応しい、総合的に高くバランスのとれた人間力を持つことを目指す。				
注意点	学生自身の自発性と行動力を重視する。そのためテーマごとにレポートの作成と提出が必要になる。レポートは各テーマごとに提出が必要となるため、必ず各テーマごとに提出をすること。また学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受講することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	レポート	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	提出物	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回） 1回（ 2 ）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	音楽家とは、音楽業界の仕事とは(1)		音楽家としてこれから必要となる行動、職業音楽家、アーティストの仕事内容の違いを理解する。		
2 回	音楽家とは、音楽業界の仕事とは(2)		職業音楽家の場合の実際の現場での音楽制作の手順を理解する。		
3 回	音楽家とは、音楽業界の仕事とは(3)		アーティストの場合の実際の現場での音楽制作の手順を理解する。		
4 回	音楽家とは、音楽業界の仕事とは(4)		ブログや音楽系SNSサービスを活用し、SNSでのファンとの正しいやり取りが出来る。		
5 回	音楽作品制作からリリースまで(1)		アルバム制作企画書が作成できる。音楽の制作以外に必要な行動を理解する。		
6 回	音楽作品制作からリリースまで(2)		アルバム制作におけるミックス、マスタリングの重要性を理解する。		
7 回	音楽作品制作からリリースまで(3)		アルバム制作におけるミックス、マスタリングの重要性を理解する。		
8 回	音楽作品制作からリリースまで(4)		効果的なアルバムのキャッチコピー、アーティスト紹介文などのテキストの重要性を理解する。		
9 回	レーベル運営について(1)		音楽レーベルの仕事内容、取引先との契約および手続きの手順を理解する。		
1 0 回	レーベル運営について(2)		アーティスト管理、著作権や印税の管理、CD在庫管理、コンサート運営の方法を理解する。		
1 1 回	レーベル運営について(3)		アートワークやミュージックビデオの撮影や編集などの必要性や制作方法を理解する。		
1 2 回	現場で必要となるスキルについて(1)		譜面制作、企画書、請求書・領収書などの文書作成の必要性や制作方法を理解する。		
1 3 回	現場で必要となるスキルについて(2)		報酬への正しい認識や交渉について理解し、収支の計算や税金の計算が出来る。		
1 4 回	現場で必要となるスキルについて(3)		仕事上のコミュニケーションの必要性や人間力の重要性を理解し、その能力を高めることが出来る。		
1 5 回	まとめ		これまでの内容を総合的に理解し、今後役立てることが出来る。		